



大すき汐入

4月号

様々な交流を大切にしていきます

校長 小黒 裕子

令和8年度が始まりました。32名の1年生が入学し、165名の子どもたちと教職員40名でスタートする汐入小学校です。保護者の皆様、お子様のご入学、ご進級、おめでとうございます。

子どもは日々、学校で先生から学ぶことを与えられるのではなく、自分が学習の活動をつくり、周りの友達や大人とたくさんかかわってみんなでその活動をつくっていきます。

また、子どもは様々な経験をしながら自分づくりをし、みんなでよりよい人間関係を築き、笑顔あふれる学級や学校をつくっていきます。

これらが学校目標の「自分がつくる、みんなでつくる、豊かに学び合うスマイリーしおり」の目指す姿です。

みんなでよりよい人間関係を築くために、今年度は「交流」をキーワードに様々な取組を充実させていきたいと考えています。

まず、「より中身の濃い交流」をつくりたい。本校は、本来学年1学級ずつの単級です。しかし、昨年度末の学校説明会で保護者の皆様にお話ししたように、4年生は一般学級と個別級の子どもたちが交流すると37名となり、2学級の人数になります。日々の学習や生活で、新たに始まるクラブ活動や宿泊学習などの特別な活動・行事で、一人ひとりに合った機会の中で、好きなことを見出し、得意を伸ばし、また、社会性を身につけていく必要があります。これらは、4年生の学級編制から取り上げた話題ではありますが、学校全体で「交流」を活発にし、相手のことをもっと知り、仲間づくりを広げながら、よりよい自分をつくってほしいと願っています。

次に、外国につながる子どもたちも安心して過ごせる、「互いの良さを理解する交流」を大切にします。本校は外国につながる子どもたちが多いのが特色です。今年度も多くの子どもたちが汐入小学校に入りました。それらの子どもたちの中には言葉の壁や文化の違いに困っているかもしれないことも理解し、助け合えるようにします。そうして、みんなが自信をもち、将来世界の人と進んでかかわっていく人になってほしいです。

最後に取り上げるのは、これまでもずっと続けてきた「学校を支えてくださる方との活発な交流」です。汐入小学校を支えてくださる地域の皆様、関係機関の皆さまのご協力を今年度もどうぞよろしくお願いいたします。